

第1回例会

一般質問から



市民クラブ
柴田 文男
議員

緑寿園の建て替えについて

質問 当初の事業費が大幅に変更されている。建て替え計画について、今後、高齢者や介護従事者、介護報酬等の動向を精査し、将来に禍根を残さない対応が必要と思うが、市の考えを伺う。

答弁 建て替え計画は、老朽化した特養、養護、軽費の3施設を一体化する大規模な新築工事です。低所得者の増加や家族機能の下、高齢者虐待など、高齢者を取り巻く問題も多様化しており、また、市内では近年有料老人ホームなどの整備が増えています。

緑寿園は、比較の入所者の費用負担も少なく、国の方針としてもその役割は大変大きく、今後もニーズの高い重要な施設だと認識しています。例の少ない大規模な施設整備事業で、多額の事業費が必要

になりますが、事業団側では現場職員の声も聞き、建て替え後の安定的な運営を念頭に、さらなる節減に向けて検討しています。

緑寿園は市民や近隣住民にとって重要な施設であり、事業団が今後も安定的、継続的に社会福祉事業ができるよう市として連携し、協力していきたいと考えています。

35人学級の拡大について

質問 本市にとって教育行政の充実は最も重要な要素。35人学級の拡大についての考えを伺う。

答弁 小学校の35人学級の5、6年生への拡大は保護者の願いでもあり、PTA連合会からは、35人学級や学びサポーターの配置など、きめ細かい学習支援を全学年に拡充してほしいと要望を受けました。

今後の目標として、子供、女性、教育への重点支援に取り組み、人口減少時代を乗り切る滝川創生を掲げ、子供の学力向上のための政策も推進したいと考えています。

学校やスポーツ施設の耐震化、教育施設整備を推進しながら、本市の財政状況を十分勘案し、検討していきます。



公明党
三上 裕久
議員

地方創生滝川版総合戦略策定について

質問 市民の意見を反映させることが重要であるが、どのように広く意見を取り入れた総合戦略とするのか伺う。

答弁 産業界・教育機関・金融機関・労働団体・メディアなどのほか、中高生・女性などの多様な意見を取り上げるための体制づくりを早期に進め、地方人口ビジョンとあわせ、方向性・具体案を策定していきます。

財政健全化について

質問 中期財政フレームを受けて、市長は危機的との判断をされているが、何を第一に行うことで財政の健全化を図ろうとしているのか伺う。

答弁 地方創生の施策を進めていくとともに、財政健全化計画を策定し、事務事業の抜本的見直し、歳入確保策の推進、組織機構・人

員配置等の適正化に取り組み、何から何までという視点で検討を進めていきます。

見直し・廃止事業について

質問 費用対効果や将来性が低い事業などの有効性や継続性を点検することだが、市長公約で掲げた事業や造成中のまち自慢のパークゴルフ場についても、見直しの対象とする覚悟はあるのか伺う。

答弁 財政が健全であるということとは、安定した行政運営を行うための根幹です。その意味では、市長公約やパークゴルフ場の造成についても検討対象に入れるべきであり、聖域を設けることなく検討していきます。

データヘルスの推進について

質問 データヘルスを推進することにより医療費の削減を図ることへの見解を伺う。

答弁 データヘルスの推進は、被保険者に自らの生活習慣の問題点を気づかせ、健康への意識を高めるきっかけになることから積極的に推進し、その結果、医療費の削減が図られるものと考えています。